一般質問

8議員により12質問が行われました。

山﨑澄子

大災害発生時への対応について

議員　もしも未曾有の大災害に見舞われた場合・近隣市町村、上部機関からの支援体制のありかた・役場機能の保持・各地区住民の非難場所の熟知と生活指揮はだれがとるのか・備蓄品の種類、数量と配布方法・上下水道の機能が不通になった時の対応の仕方・防災無線の完全な伝達方法等。想定される事は山ほどあると思われますが、行政としての町民への対応を伺います。

町長　災害時の対応は「甘楽町地域防災計画」の中で詳しく定められ、これに基づいて行動します。

備蓄品の種類は毛布・布団・シーツやマスク、ペットボトル飲料水等、食料品は備蓄していません。

今後は危険個所の再点検などに努め、自主防災啓発用パンフレット・防災マップ等を作成し災害時の対応について皆さんに周知します。

黛　哲夫

自然エネルギーの取組と普及啓発について

議員　当町は自然エネルギーとして太陽光発電、水力発電、風力発電、バイオマス発電など、自然エネルギー源として活用できるものがあると思います。次の点について伺います。

一、自然エネルギー事業に対応した事例はあるか。

二、太陽光発電の補助事業の実績と今後の取組みについて。

三、自然エネルギー導入の考えと普及啓発について、

四、その他、企画的な施策があればお願いします。

町長　一、今までの自然エネルギー事業等は、ふるさと農園クラブハウスの太陽光発電、かんら保育園のOMソーラー、ハイブリット車、バイオディーゼル車の導入です。

二、昨年度の町補助金交付実績は15件189万3、000円です。補助枠の拡大については、国・県の動向を踏まえ柔軟な予算対応をします。

三、四、第5次総合計画に新エネルギー政策も盛り込み将来を見すえたエネルギー施策を展開します。

富岡朝男

第5次甘楽町総合計画について

議員　新総合計画の中に、子供たちに夢を与えるような地域づくり、自然の中での思い出に残るふるさとづくりを計画したらどうかと考えます。

町内には、里山や小川など多くの自然があるので、その自然環境を行政がすこし手を入れて整備し地域のボランティアが管理運営をしていけば自然の遊び場が復活します。

ぜひ、このような施策を計画していただきたいと考えます。

町長　町制50周年宣言のキーワードである「感謝」「信頼と連帯」「夢」をもった町づくりを推進するため、町づくりの基本となる計画、第5次総合計画を策定中です。

里山や小川などの自然を活かし、子ども達に夢を与えるような地域づくりを総合計画に活かしていきます。